

自己評価結果公表シート（令和5年度）

学校法人育保学園 くまのだ保育園

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育者の質の向上
- ・子ども理解
- ・保育環境の見直し
- ・行事の見直しと家庭・地域との連携

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育者の質の向上	・キャリアアップの研修は個人個人が時間を見つけて積極的に受講する事ができているが、その他様々な分野の研修に関しては受講する機会が減っている為、様々な研修に興味を持てるよう、ミーティングや園内のSNS等で引き続き紹介していきたい。 ・日々の保育の中で、個々の職員の知識を伝え合う機会が少なく、保育の幅が狭くなっている場面が見られた為、積極的に互いの知識や保育の内容を伝え合う機会を設け、個々の保育の幅を広げていきたい。
○子ども理解	・普段から職員がいろいろなクラス子ども達と関わる機会を増やし、子どもの姿を共有する場を作った事で、より園全体の子ども達を職員全体で見守っていく意識が高まった。 ・日々の子ども達の遊びの姿を記録し、具体的にどんな学びがあるのか、意見を出し合う機会を設けた事でより深く、様々な角度からの子ども理解に繋がった。
○保育環境の見直し	・定期的に、戸外あそびの話し合いを設けてきた事で、季節に応じた環境を見直す事ができた。又、乳児・幼児一緒に、遊びの様子、改善点を伝え合う事で互いのクラスの遊びの内容や課題を知る機会となった。ただ、話し合いの時期と子どもの姿にずれが生じる事があった為、もう少し話し合いの機会を増やしていく必要がある。 ・環境ガイドラインを用いて、子ども達がどのような事に興味があるのか、また保育者がどのような環境を提供すべきかを話し合った事で日々の保育を見直すきっかけとなった為、継続して活用していきたい。
○行事の見直しと家庭・地域との連携	・保護者の保育参加や行事等はコロナ禍前の状況で実施する事ができ、普段の保育の状況を見て頂く機会を多く設ける事ができた。しかし、乳児の普段の様子の動画に関しては定期的に掲示する事が難しかった為、引き続き取り組んでいきたい。 ・地域の未就園児や保護者に対しては、園庭開放だけでなく、室内の遊び場の提供や低年齢児向けの活動も取り入れる事で幅広い年齢の子ども達に参加して頂く事ができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育者の質の向上	・保育の中で実践する手遊びや製作の技法、玩具や遊具の使い方等、個々に持っている知識を紹介したり、職員間で一緒に経験する機会を設ける事でより多くの知識を職員皆が身に付けられるようにしたい。
・保育環境の見直しとねらいの共有	・定期的な話し合いで、季節毎の環境の構成はできていたが、日々の子どもの姿に応じた環境構成や子どもの成長に対する共通理解が十分にできていない部分もあった為、話し合いの機会を増やす等し、日々の変化に目を向けられるようにしていきたい。 ・室内や戸外に於いて、ごっこ遊びをする経験が少なくなっている為、遊びの環境を見直し、積極的に取り入れていきたい。
・業務の効率化	・行事や日々の保育の準備等、職員で協力して行えるように早めに出し合い、計画的に進めていけるようにする。 ・登降園管理や登園状況の確認等、ICTを導入する事で職員の負担を軽減できるようにする。